

地方がんゲノム医療連携病院における出口戦略の現状調査

済生会熊本病院では、医学の発展のため患者さんの診療情報等を使用し、本研究を実施しております。ご質問や利用停止等のお申し出は、「問い合わせ先」へご連絡下さい。

研究の目的と方法

近年、がんの組織や血液を用いてがんの原因となる遺伝子異常を調べる包括的がんゲノムプロファイリング（CGP）検査の普及により、がんの遺伝子変異に基づいた治療が可能となっています。しかし、CGP 検査で遺伝子変異が検出されても、実際に治療に到達できる割合は約 10%程度であると言われていいます。その要因の一つとして、がんゲノム医療の出口戦略である治験や臨床試験の推進が必要ですが都市部に集中しており、地方の患者様にとってアクセスが困難である点が挙げられます。さらに、現時点では標準治療終了が見込まれる時点で CGP 検査が実施されるため、病勢の進行や治験適合性の問題が生じることも課題となっています。しかし、地方のがんゲノム連携病院で GCP 検査後の治療到達率などの現状に対する調査は限られているため、当院の CGP 検査後の現状調査を行います。

研究の対象となる方

2021 年 4 月～2025 年 1 月に当院で CGP 検査を受けられた方

使用する試料・情報

年齢、性別、がん種、既往歴、CGP 検査結果など

〔使用開始予定日〕 2025 年 4 月 23 日

研究予定期間

2025 年 4 月 23 日～2026 年 3 月 31 日

個人情報の取り扱い

研究情報は、許可された研究者のみが使用します。研究成果を学会等で発表予定ですが、個人が特定されないよう氏名等を削除した情報や集計結果を用いますので、プライバシーは守られます。

〔研究の情報管理責任者〕 薬剤部 守田 和憲

〔当院の個人情報管理責任者〕 院長 中尾浩一

研究への協力について

研究目的にご自身の診療情報等を利用されることを希望されない場合は、研究対象とせず、利用を停止すると共に、収集した情報等も可能な限り削除します。本研究への協力は患者さんの治療とは関係が無く、ご協力いただけない場合も患者さんに不利益が生じることはありません。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、関連資料を閲覧することが出来ます。

問い合わせ先

済生会熊本病院 薬剤部 守田 和憲

住所：熊本市南区近見 5 丁目 3 番 1 号 電話：096-351-8000(代表)